

外来生物対策のための 協働を考える

外来生物の分布状況を把握するため、スマホや携帯電話のGPS機能を利用した参加協働型調査がすでに始まっています。それはどれくらい有効なのでしょうか。そして、分布が明らかになった外来生物を取り除くために、行政、県民、企業がどのように役割分担する必要があるのでしょうか。

気づかないうちに侵入し拡大を続ける外来生物から、私たちの暮らしを守るための協働の仕組みについて考えます。

2月19日(水)13:00～
徳島県建設センター6F

徳島市富田浜2丁目10
TEL:088-622-3112

プログラム

受付：12:40～

開会：13:00～

【第1部】13:10～

- ・外来生物の分布状況を把握するための参加協働型調査の可能性
- ・対策に向けた討論

【第2部】15:40～

- ・コメントと展望：外来生物対策における協働の仕組みづくりとその先進事例
- ・まとめ

閉会：16:50

主催：特定非営利活動法人 徳島保全生物学研究会、徳島県 共催：生物多様性とくしま会議、徳島大学環境防災センター
後援：三菱UFJリサーチ&コンサルティング、徳島県建設業協会（後援予定）

このフォーラムは、地球環境基金の助成により開催します。

プログラム詳細

司会進行 大田直友¹⁾

開催挨拶

【第1部】外来生物の分布状況を把握するための協働調査の可能性

- ・ツバメの広域的分布調査 三宅 武²⁾
- ・外来生物（ジャンボタニシ、ナルトサワギク）の広域的分布調査 鎌田磨人³⁾
- ・アルゼンチンアリ、セアカゴケクモの拡大の懸念 土井伸一郎⁴⁾

対策に向けた討論

鎌田磨人、土井伸一郎、稲飯幸代⁵⁾、野田奏栄⁶⁾、会場の皆さん

【第2部】コメントと展望

外来生物対策における協働の仕組みづくりとその先進事例 西田貴明⁷⁾

まとめ

閉会挨拶

- 1) NPO法人 徳島保全生物学研究会/阿南工業高等専門学校
- 2) 日本野鳥の会徳島支部・支部長
- 3) 徳島大学環境防災研究センター・教授 / 生物多様性とくしま会議・共同代表 / NPO法人 徳島保全生物学研究会・理事長
- 4) 徳島県県民環境部 環境首都課 自然環境室
- 5) NPO法人 徳島保全生物学研究会
- 6) 公益社団法人 大阪自然環境保全協会
- 7) 三菱UFJ リサーチ&コンサルティング(株) / 徳島大学環境防災研究センター・客員准教授

- ✓ ジャンボタニシは水田や用水路で繁殖し、JAや農家は対応に苦慮している。
- ✓ ナルトサワギクは海岸砂浜、埋立地、河川砂州、河川堤防や高速道路の法面、道路建設事業地などに侵入していて、分布が広がりつつある。
- ✓ セアカゴケクモやアルゼンチンアリは港湾や道路の物資移動に伴って拡散し、侵入場所では県民の生活に影響を及ぼしている。



● 参加申込書の内容を、2月14日までに、以下まで送付してください ●
送付先 ; email sachiyoww@hotmail.co.jp、Fax 0886374022 (稲飯)

参加申込書（参加費無料）

氏名		
所属		
連絡先	E-Mail :	TEL :